

鈴廣かまぼこ株式会社

神奈川県小田原市/製造業



事業概要

水産練り製品事業・魚肉たんぱく加工事業を中心に、原料開発・企画・研究・製造・販売・店舗開発・飲食レストランや体験型博物館の運営など多角的な事業を展開する会社です。

従業員数
200名

令和6年度補正予算

伴走支援

47,850 円

事業所全体の省エネ効果



エネルギー削減量
(原油換算値)

8.3 kI/年



CO₂削減量

14.5 t-CO₂/年



費用削減額

100.6 万円/年

※各値は、下記の提案内容の合計ではございません。

登録診断機関からのコメント

本伴走支援は以下2つのフェーズに分けて実施しました。

1. 包装場の空調システムを導入外気処理の井水利用システムへ変更することを検討し、省エネルギー化を目指す。
2. 補助金申請に必要な同システムおよび更新パッケージエアコンの導入効果を求めるツール（独自）の作成を行い、37,137kwh/年の電力量削減、原油換算値8.3 kI/年を削減する試算を得る。

導入外気処理の井水利用システムを検討

- 包装場は高清潔区域で第2種換気のため、従来の空気・空気熱交換器が適用できない環境です。そこで、冷却コイルを用いた井水直冷方式の空調導入を中心に、システム設計・設備構成・計算ツール・運用評価を総合的に検討しました。
- 本計画にもとづき構築したシミュレーションツールを用いて、包装場の外気処理における井水冷却システムの効果を定量的に評価。
- 運転時間を365日24時間としたケースAと、既存空調機とその配管を活用し、365日8～20時間（既存空調の運転時間）としたケースBを比較した結果、ケースAの削減率は75.6%、ケースBの削減率は30.1%となり、24時間運転による熱利用の優位性が明らかとなりました。

	冷却負荷の 年間合計 (kWh)	冷却コイル処理熱量の 年間合計 (kWh)	削減率 (%)
ケースA	186,000	140,688	75.6
ケースB	108,364	32,590	30.1

導入効果を求めるツール（独自）の作成と効果の算定

- 検討結果をもとに、活用を検討していた補助金の省エネルギーに関する技術データの提供を行いました。
- 具体的には、井水利用に加え、当事業所は食品工場特有の条件（低温設定、外気導入による高清潔域の圧力制御、24時間運転）を有しているため、標準的な空調算出ツールでは対応が困難でした。そのため、当該補助事業の効果算定ガイドラインを踏まえ、独自の算出ツールを用いて効果の算定を行いました。

事業者様の声

老朽化した空調を更新することによりどれくらいの効果が出るのか、具体的に検証するために支援を受けました。設備更新についてはいくつかのパターンを提示してもらい、より効果の高い方法を選択し、設備更新を決定することができました。